

市の各種手続きや施設、行事、公共交通案内などは
札幌市コールセンター

☎ **222-4894** FAX **221-4894**

Eメール info4894@city.sapporo.jp
8時～21時（年中無休）

？ 市政に関するご意見、ご提案などは
市民の声を聞く課

☎ **211-2042** FAX **218-5165**

※下記ホームページでも市政提案のメールを受け付けています。

💻 **札幌市役所ホームページ**

www.city.sapporo.jp

※広報さっぽろの誌面も掲載。10区全ての区民のページもご覧になります。

携帯電話対応サイト

<http://www.city.sapporo.jp/mobile/>

こちらからもアクセスできます→



市役所・区役所などの連絡先

- 市役所
〒060-8611 中央区北1西2 / 地下鉄大通駅下車
☎211-2111（代表）FAX218-5161（広報課）
 - 区役所（電話は代表、ファクスは広聴係）

中央区	南3西11	☎231-2400	FAX231-6539
北区	北24西6	☎757-2400	FAX757-2401
東区	北11東7	☎741-2400	FAX742-4762
白石区	本郷通3北	☎861-2400	FAX860-5236
厚別区	厚別中央1の5	☎895-2400	FAX895-2403
豊平区	平岸6の10	☎822-2400	FAX813-3603
清田区	平岡1の1	☎889-2400	FAX889-2402
南区	真駒内幸町2	☎582-2400	FAX582-0144
西区	琴似2の7	☎641-2400	FAX641-2405
手稲区	前田1の11	☎681-2400	FAX681-6639
- ※市税事務所の所在地、電話番号は27ページをご覧ください。

- 大型ごみ収集センター（大型ごみの有料収集申し込み）
9時～16時30分（土・日曜、祝・休日を含む）
☎281-8153 耳や言葉の不自由な方はFAX281-4622
- 救急安心センター（24時間）（医療機関の案内、救急医療の相談）
☎#7119
ダイヤル回線、IP電話は☎272-7119
- 夜間急病センター
中央区大通西19 / 地下鉄東西線西18丁目駅下車
☎641-4316 FAX615-8604

👤 **札幌の人口と世帯**
1月1日現在（前月比）
国勢調査ベース
1,938,203人（+434）
923,955世帯（+431）

🚗 **市内の交通事故**
平成25年1月1日～12月31日（前年比）

発生	6,196件（-451）
死者	27人（-1）
傷者	6,957人（-701）

広報さっぽろは毎月10日までに、町内会や、市が委託した民間の会社を通じて市内の全世帯に配布しています。詳細は、広報課がお住まいの区の区役所広聴係へお問い合わせください。

📖 **札幌市市長政策室広報部広報課**
〒060-8611 中央区北1西2 ☎211-2036 FAX218-5161
Eメール kohokakari@city.sapporo.jp

表紙のことば **せつぶんの日** といえば“おに”

きたく とんでみなしよがっこう ねん くみ さとう よしの
北区・屯田南小学校2年1組 **佐藤 佳乃**

わたしたちは、表紙のひょうしについてのおにのおめんを作りました。せつぶんの日は、まめをなげておにをたいじするので、おにのぶくろいを作りました。紙ねん土で形を作ったり、あなをあけたり大へんなこともあったけれど、楽しかったです。



ねん くみ ともだち せんせい
2年1組のお友達と先生

今月の広報番組

📺 テレビ	📻 ラジオ
札幌ふるさと再発見 STV 毎週土曜 11時54分～59分 [内容] 竹スキーで雪まつりを盛り上げる～モエレまちづくり委員会 へ。	スマイルさっぽろ HBC AM 1287kHz ※「山ちゃん美香の朝ドッキリ！」(9時～11時)内 毎月第2、第4火曜 9時35分～45分 [内容] 「救急車が必要?!」判断に迷ったら「救急安心センター」へ。
いいコト聞いた UHB 毎月第2、第4日曜 8時55分～9時 [内容] 雪の降るまち札幌を楽しもう!	さっぽろ散歩 STV AM 1440kHz 毎週土曜 11時30分～45分 [内容] この冬さらに利用しやすく「SAPICA(サピカ)」へ。
ウォッチング札幌 TVH 毎週火曜 22時54分～59分 [内容] 歩くスキーで冬の運動不足解消!	ポップアップさっぽろ AIR-G! FM 80.4MHz ※情報番組「Sparkle Sparkler」(12時～15時55分)内 毎月第1、第3、第5木曜 12時25分ころから約5分間 [内容] 地下に広がるアート空間「500m美術館」へ。
中央・東・厚別・豊平・西区の広報番組を、それぞれの区内にあるコミュニティFM局で放送しています。放送日時などは、上記5区の区民のページをご覧ください。	サッポロ・シティ・ナビ NORTH WAVE FM 82.5MHz 毎月第1、第3、第5金曜 11時50分～12時 [内容] 冬も魅力がいっぱい「サッポロさとらんど」へ。

※「札幌ふるさと再発見」「いいコト聞いた」は、インターネット配信を行っています。
<http://www.city.sapporo.jp/somu/tvradio/movie.html>

広報クイズ

問題

地域の清掃活動やお祭りの開催など、日々の暮らしを陰ながら支える取り組みを行っている組織を何というでしょうか。
□に入る漢字2文字をお答えください。

□□会

プレゼント

正解者の中から抽選で30人の方に、さっぽろ雪まつり公式グッズ「ボールペン」「クリアファイル」をセットで差し上げます。

応募方法

はがき、ファクス、Eメール。クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号と、広報誌や広報番組へのご意見・ご感想を記入し、広報課(左記)へ。1人1通。2月20日(木)消印有効。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。なお、1月号の正解は「札幌国際芸術祭」でした。





笑顔あふれる 地域を目指して

一人と人をつなぐ身近な存在、町内会

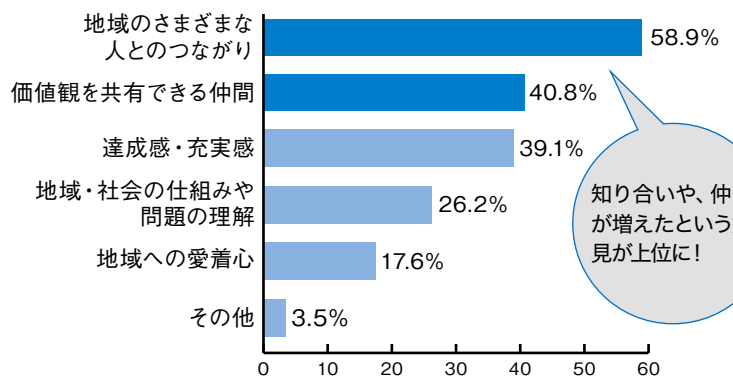
まちの清掃やお祭りの開催など、日々の暮らしを陰ながら支える「町内会」は、私たちにとって身近な存在の一つです。

この特集では、町内会と積極的に関わり、地域に笑顔の輪を広げるために力を尽くす人たちへのインタビューを通して、住民同士のつながりの大切さと交流を深めるための工夫をお伝えします。

この特集に関する問い合わせは、市民自治推進課 ☎211-2253



＼地域の活動に参加するとこんな良いことが！／



町内会 × 高校生

清田区北野まきば町内会

役員の高齢化が進む町内会で、
女子高校生が役員となり、イベントの企画や
町内会報の執筆などに携わっています



身近な人に楽しんでもらう
喜びを知った—
きっかけは町内会でした

(飯島)



北野まきば町内会 会長

こんどう ゆういちろう
近藤 裕一郎さん

町内会役員若返り策として、幼い頃行事に熱心に参加していた飯島さんに、役員就任を依頼した。

北野まきば町内会
青少年育成副部長

いいじま ゆうか
飯島 優佳さん

北星学園大学附属高校2年生。昨年4月から町内会の役員となり、主に子ども向け行事の企画・運営を担当。

—なぜ、飯島さんが町内会に関わるようになったのですか？
飯島 幼い頃、町内会のお祭りが大好きでよく参加していましたが、小学校を卒業してからは町内会との関わりはありませんでした。そんな中、近藤会長から町内会の役員に誘っていただき、「地域のためにできることがあるなら」と考え、引き受けました。—役員になってみて、町内会への印象は変わりましたか。
飯島 役員を始める前は堅苦しいイメージを持ってましたね(笑)。でも、実際に活動してみると、親しみやすい方ばかりですぐに打ち解けることができました。
—飯島さんが役員になったことで、周りの方からの反応は？
近藤 地域の方から「町内会が明るくなった」と喜ばれています。彼女に声を掛けたのは、若い人の発想で町内会をより活発にしたいという思いからでした。役員になってもらって、周りの大人たちも刺激を受けている気がします。「若者に負けていられない！」という意識の改革につながったのではないのでしょうか。
—昨年開催したカレーパーティーが大盛況だったそうですね。
飯島 地域の子どもたちがカレーライスを作り、大人に振る

舞うというイベントを初めて企画したところ、200人を超える方が集まってくれました。開催案内のチラシ作りを子どもたちにも手伝ってもらったほか、ゲームの企画では、近所にある介護予防センターの方からアイデアをいただきました。企画をゼロから作り上げるのは大変でしたが、地域の人たちが交流し、絆を深められるイベントになったので、やって良かったと思います。
近藤 こうした世代を超えた交流が、つながりの輪を育みます。多くの方に町内会のイベントなどに参加していただくことで、今後の新たな活動へと広がってきたいですね。



町内会 × 子育て

東区元町4区町内会

この地区の子育てサロンでは、
利用する親子だけではなく、町内会の人たちと一緒に
子どもたちを育む活動を行っています



子育てを通じて
人と人がつながる—
そんな交流の場に
していきたいですね



元町4区町内会女性部副部長
岩田 容子さん

町内会女性部での活動の傍ら、子育てサロン「チェリーランド」を主宰。訪れる母親たちから厚い信頼を集める。

—どのような経緯で子育てサロンを始めたのですか？

10年ほど前、町内会館で事務の仕事をしていたときに、訪れるお母さんたちから「ここに子育てサロンがあればいいのに」というお話を何度も聞きました。

そこで、町内会に相談をして、費用の助成を受けながら、会館の一室を使ったサロンを始めたんです。

—週3回のサロンでは、どのような活動をしているのですか？

折り紙や絵本の読み聞かせなどです。また、七夕やクリスマスなど、毎月、季節にちなんだイベントも開催。こうした活動では、町内会などに声を掛けて、手伝ってもらっています。近くの中学校や高校の生徒さんたちが参加してくれることもあるんですよ。

—いろいろな催しがあって楽しそうですね。

サロンに来る親子だけでなく、地域の皆さんも楽しみにしてくれています。先日行った餅つき大会も、餅米の準備や会場の設営など、多くの皆さんに協力してもらい、和気あいあいとした楽しい会になりました。

—子育てから地域のつながりが育まれているのですか？

そうですね。子育て中のお母さん同士だけではなく、このサロンを手伝ってくれる地域の方々とも顔なじみになります。これからも、気軽に声を掛け合ったり、子育ての悩みを相談できたりする関係をもっとつくっていきけるといいですね。

地域の活動に参加したいときは「まちづくりセンター」へ

市内に87カ所あるセンターでは、歩道の花壇づくりや防災訓練の実施など、地域で行われているさまざまな活動のお手伝いをしています。

こんなときはまちづくりセンターにご相談を！

- ・地域でどんな活動をしているか知りたい
- ・町内会に加入したい など

お住まいの地域のまちづくりセンターや町内会は、ホームページで確認できます。



札幌市 町内会

検索

町内会 × 環境活動

西区西野連合町内会

連合町内会やPTAなどが連携して、地域の川にヤマメの稚魚を放流するという幅広い世代が気軽に参加できる環境活動を行っています



楽しみながら
身近な自然に親しむ—
それが地域への愛着を
深めると思うんです



西野連合町内会 会長
佐藤 功悦さん

長年、西野地区の町内会活動に携わるとともに、ヤマメの稚魚放流事業実行委員会の委員長も務めている。

—ヤマメの放流はどのような活動ですか？

自然のヤマメが数多く生息していたかつての琴似発寒川の姿を取り戻そうと、毎年春に約3万匹の稚魚を放流しています。一つの町内会の発案で始まったこの取り組みは、今では11の連

合町内会が共同で行う事業となりました。昨年24回目を迎え、幅広い世代が交流できる地域の一大イベントになっています。

—昨年は2千人近い参加者でにぎわったそうですね。

そうですね。身近にある自然を守っていききたいという思いが少しずつ広まってきた気がしますね。特に子どもたちは、稚魚を見て目を輝かせて喜んでくれますよ。命の尊さや環境の大切さを学ぶ貴重な機会になっていると思います。

—こうした行事には、たくさんの方の協力が必要ですね。

事前の打ち合わせや当日の会場設営などでは、町内会だけではなくPTAの方なども協力しながら行っています。また、当日は、町内会や児童会館の皆さんが、環境の大切さをテーマに紙芝居を披露する催しも行っています。

—ほかに、地域ぐるみで環境活動に取り組んでいるのですか。

ヤマメの放流時期に合わせて、河畔を一齐に清掃する活動も行っています。こうした取り組みを通じて、自分たちの手で身近な自然を守ろうという連帯感が生まれ、地域への愛着が深まっていくのだと思います。

町内会から広がる地域の輪

町内会は、そこに住む人たちが知り合える場をつくり、安心して暮らしていけるようにつながりをつくる活動をしています。皆さんも、身近な存在である町内会の活動に気軽に参加し、ご近所との交流の輪を広げてみませんか。

町内会の活動についてもっと知りたい！

パンフレットを配布中

町内会など、地域で行われている活動の事例などを紹介した冊子「まちナビ」を配布しています。

配布場所 市役所13階市民自治推進課、区役所など



チ・カ・ホで パネル展を開催

町内会活動を紹介するパネル展や映像の放映などを行います。

日時 3/4(火)、5(水) 11時～18時

会場 駅前通地下歩行空間北3条付近



市は、町内会活動の魅力、このロゴとともに発信する取り組みを行っています

寒さに負けない体をつくろう！

冬の健康管理術

寒い日が続く雪が降り積もるこの時期は、運動不足になったり、体調を崩したりしてしまいがちです。このページでは、普段の生活で気軽に取り入れられる健康づくりの方法を紹介。みんなで実践して厳しい冬を乗り切ろう！

このページに関する問い合わせは、健康企画課 ☎622-5151

運動不足を解消しよう！

軽い運動でも続けることが健康の秘訣！

外の気温が低いと、暖かい室内で過ごすことが多くなり、日々の運動量が減ってしまいます。運動量が不足すると筋肉が落ち、体温が低下して病気にかかりやすくなる恐れが。少し体が温まる程度の運動でも、継続的に取り組むことで健康を保つことができますよ。

中央健康づくりセンター ぬかや 糠谷 運動指導員



気軽にできる！冬におすすめの運動

意識を変えると立派な運動 **雪かき**

面倒に感じてしまうことが多い雪かきですが、実はジョギングをするのと同じだけの運動量があります。

雪投げの向きやスコップの持ち手を変えながら行くとバランス良く筋肉を使えます



転倒予防に最適 **足の筋力アップ体操**

外出を控えるようになると足回りの筋力が衰え、転んでけがをしやすくなります。テレビを見ながらでもできるので実践してみよう。

膝伸ばし

座った状態で膝を真正面に伸ばします

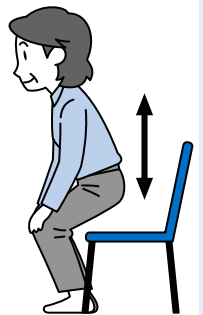
太ももの筋力アップ



立ち座り

いすに腰掛けるようにお尻を上げ下げします

太ももとお尻の筋力アップ



何げない動作の積み重ねが大きな運動効果に

道を「歩く」、階段を「上る」、荷物を「運ぶ」など、普段の何げない動作には、スポーツをするのと同程度の運動量になるものも。日々の暮らしの中で積み重ねていくことで、大きな効果が得られます。

＜日常の行動と運動量の関係＞

歩く	≒ ボウリング
階段を上る	≒ ラジオ体操第一
子どもと遊ぶ	≒ 水泳
荷物運び	≒ サイクリング

同じ時間で
ほぼ同じ運動量になります

運動不足の解消をお手伝い！ 健康づくりセンター



ランニングマシンなどのトレーニング機器が充実。運動教室や健康診断も実施しています。

中央健康づくりセンター

場所 中央区南3西11
詳細 ☎562-8700

東健康づくりセンター

場所 東区北10東7
詳細 ☎742-8711

西健康づくりセンター

場所 西区八軒1西1
詳細 ☎618-8700

風邪・インフルエンザを 予防しよう!

ウイルスを体内に入れないことが予防の鉄則!

この時期、患者が多くなる風邪・インフルエンザの予防には、まず、ウイルスを体に入れないことが鉄則。病気への抵抗力を高める食事を心掛けることも重要です。



かわりにし 川西 職員
感染症総合対策課

予防の基本は「手洗い・うがい」「食事」「湿度」

習慣づけよう 手洗い・うがい

帰宅した時だけでなく、外出先でも小まめに行い、体に付着したウイルスを洗い流すことが大切です。

効果的な手洗い法

せっけんを使って15秒

- ① せっけんを泡立てて、手のひらをこすり合わせる。
- ② 手の甲や、指、手首を15秒以上かけて丁寧に洗う。
- ③ すすいで、清潔なタオルで十分に水気を拭き取る。



効果的なうがい法

まずは口内をすすいでから

- ① 口の中をすすぎ、吐き出す。
- ② 上を向いて、喉の奥で15秒うがいをし、吐き出す。
- ③ ②をもう一度繰り返す。



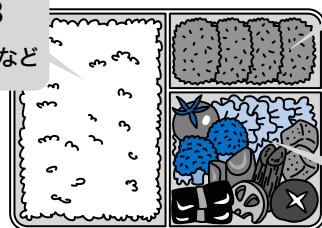
口内の菌を洗い流した後に喉を洗います

免疫力をアップ バランスの良い食事

さまざまな栄養素を取ることで免疫力が高まり、病気に負けない体をつくることができます。主食と主菜と副菜のバランスを3:1:2にすることが理想的です。

主食は3

ごはんやパンなど



主菜は1

肉・魚・卵・大豆製品など

副菜は2

野菜・キノコ・海藻など

乾燥を防ごう 湿度は50%を目安に

空気が乾燥すると、鼻や喉の粘膜が弱まり、ウイルスが体に入りやすくなります。加湿器での調整のほか、ぬれたタオルを干しておくことも効果的です。

高齢の方は特に注意!

長期間家から出ない「閉じこもり」

外出できるにも関わらず外に出掛けなくなってしまう「閉じこもり」は、体だけではなく心も弱らせてしまい、寝たきりや認知症につながることも。寒い冬でも、意識的に外に出ることが大切です。

詳細 介護保険課 ☎211-2547

閉じこもり予防のポイント

- ・ 買い物に出掛け、近所の人に声を掛ける
- ・ 外に出て季節を感じる
- ・ 趣味を持ち、仲間と楽しむ
- ・ 新しいことに挑戦する など



小さなことの積み重ねで冬も元気に

暮らしの中で意識的に体を動かすことや、手洗い・うがいを徹底することなど、普段のちょっとした心掛けが健康の維持につながります。冬を元気に過ごすために、自分に合った健康法を実践してみたいかがでしょうか。

自分の健康状態をチェックできる催しを開催

とくとくキャンペーン

とくとく健診

申込不要・無料

血管年齢や血圧の測定、生活習慣病を予防するための健康相談が誰でも受けられます。

日時 2/13(木)10時~16時

場所 駅前通地下北3条広場

詳細 保険企画課 ☎211-2887



通学路の安全対策

なかむら

中村 たけし

民主党・市民連合



問 京都市府亀岡市で通学途中の児童の列に車が突っ込み、10人が死傷した事故後も、通学時の死亡事故が相次いだことから、平成24年5月に、国から小学校の通学路における緊急合同点検を実施するよう通知されました。その結果、本市においては、対策が必要な箇所が237カ所あり、本年度末までに実施済みとなるのが232カ所、来年度以降に予定されているのが5カ所となっています。

通学路の安全対策は、関係機関・部局が複数あり、それぞれの役割分担があることから、連携し、実行につなげていく仕組みが不可欠です。安全対策について、どのような仕組みを構築し、運用するのか、また、今後どう充実させていく考えなのか伺います。

答 毎年実施する通学路の調査に併せて、歩道や信号機などの状況、冬期間の道路状況などを各学校が調査、点検し、教育委員会としてその結果の報告を受けています。これに加え、本年度から歩道の幅など、道路施設整備などに関する学校からの要望を取りまとめ、関係部局と情報を共有し、教育委員会からも各区土木センターに学校との協議を要請しています。これにより、情報を共有化し、対策に結びつけていくという流れが一步進んだと考えています。今後は、協議の状況などを把握していくとともに、地域の実情に応じた安全対策を推進しているスクールゾーン実行委員会の意見などもより反映できるような仕組みなど、さらに検討していきます。

胃がん対策の強化

ふくだ こうたろう

福田 浩太郎

公明党



問 胃がんリスク検診でピロリ菌感染者を見つけて、除菌療法を実施し、その後は定期的に内視鏡検査を行うことで胃がんで亡くなる方を減少させることが期待できますし、将来の医療費削減にも効果が期待できます。そこで、本市の胃がん対策を、バリウム検診による2次予防から、胃がんリスク検診による1次予防に転換すべきだと考えますが、いかがですか。さらに、若年者は除菌による効果が大きいことから、特に中学卒業時に胃がんリスク検診を行うべきだと考えますが、いかがですか。

答 胃がんの発症予防を目的とする1次予防対策も重要であることから、ピロリ菌感染と胃がんの関連性や除菌の方法などについて、ポスターの掲示やセミナーの開催などにより積極的に周知していきます。また、ピロリ菌感染に着目した胃がん検診については、国の研究成果を注視し、その評価結果を踏まえて、若年層での実施も含め、今後の検診の在り方について検討していきます。

市議会の動き

11月28日に招集された第4回定例会の中から、12月4日、5日の代表質問の主な内容、最終日に可決された議案などについてお知らせします。

なお、代表質問については、ホームページの録画中継でもご覧いただけます。

2017年冬季アジア札幌大会

ささき

佐々木 みつこ

自民党・市民会議



問 冬季アジア大会は、アジア地域における冬季スポーツの発展を目的に開催される総合国際スポーツ大会です。第8回となる札幌大会は、約30の国と地域、参加人数は約1,200人と過去最大規模を想定しています。開催する都市としておもてなしの心を持って準備を進めることが必要です。選手や関係者、観光客の利便性向上のため、競技施設や観光施設においてもインターネット環境を整えることが必要だと考えますが、いかがですか。

答 インターネット環境の整備は、選手や観光客の利便性の向上のために極めて重要です。本年度中に、民間事業者と連携して整備に着手し、利用可能施設を逐次拡大していく予定です。

問 冬季アジア札幌大会は、将来の冬季オリンピック開催へのステップアップとしても大変重要な大会です。大会を成功させることが、将来の札幌での冬季オリンピック・パラリンピックの開催という夢の実現につながっていくものと考えますが、いかがですか。

答 札幌は、1972年の冬季オリンピックをはじめ数々の国際大会を成功させ、ウインタースポーツシティとしての地位を築いてきました。冬季アジア札幌大会はあらためて世界に札幌をアピールする絶好の機会であり、大会の成功が、さらなる大きな国際的なスポーツイベント誘致につながるという好循環を生むと考えています。

委員会の主な活動状況

(12/11~1/10)

総務委員会

「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書の提出を求める陳情」について初審査を行い、継続審査としました。

(1/9)

文教委員会

「札幌市にひきこもり地域支援センターを設置する陳情」について初審査を行い、継続審査としました。

札幌市教育振興基本計画（案）の報告について、教育委員会から説明を受け、質疑を行いました。

(12/24)

厚生委員会

第2次札幌市自殺総合対策行動計画（札幌ほっとけない・こころのプラン）の策定および札幌市健康づくり基本計画「健康さっぽろ21（第二次）」の策定について、保健福祉局から説明を受け、質疑を行いました。(12/12)

市議会だよりを発行

平成25年第4回定例会の内容を紹介した第101号を配布中です。

配布場所

市役所ロビー、2階市政刊行物コーナー、区役所、まちづくりセンターなど。



平成26年第1回定例会のお知らせ

<本会議>

第1回定例会は、2月14日（金）から3月28日（金）まで開かれ、各会派の代表質問は、2月19日（水）から3日間行われる予定です。

<予算特別委員会>

平成26年度の本市の予算について、局ごとに審査します。日程：2月21日（金）、28日（金）、3月4日（火）、7日（金）、11日（火）、13日（木）、17日（月）、19日（水）、24日（月）、26日（水）

本会議および予算特別委員会の模様はインターネットで生中継します。ぜひご覧ください。

ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)

おぐら なほこ
小倉 菜穂子

市民ネットワーク北海道



問ワーク・ライフ・バランス実現に向け市内のあらゆる企業が職場環境の改善、整備に取り組むため、市民・企業・行政が協議できる場を設け、共に進めるべきだと考えますが、いかがですか。

答今後の促進方法は、市民や企業の代表者を委員とする札幌市子ども・子育て会議において協議を行っていく予定です。

問全ての市民や企業がワーク・ライフ・バランスの大切さを共有するため、社会的機運の醸成を図るべきだと考えますが、いかがですか。

答ワーク・ライフ・バランスの促進に当たっては、社会全体でその大切さを共有することが重要です。今後、企業や団体とも連携しながら、女性の社会進出のためのシンポジウムなどを開催するほか、他都市の事例なども参考に、さらなる機運の醸成に努めていきます。

子どもに関わる課題

おがた かおり
小形 香織

日本共産党



問本市の児童クラブの8割が、国が示す「おおむね40名程度」を超え、過大規模になっています。一つの小学校区に一つの児童クラブや民間学童保育所しか認めないとする考え方を改め、複数を整備すべきだと考えますが、いかがですか。

答1小学校区1放課後児童クラブの考え方についても、大規模化に対応するため、検討する必要があると認識しています。

問横浜市のような待機児童の数え方ではなく、1カ所だけでも入所申し込みをすれば、預かり保育の人も含めて待機児童と数え、その全てを2014年度末には解消するという考え方だと理解してよろしいですか。

答2014年度末までに、国定義以外の待機児童も含め、保育サービスを必要とする全ての児童に必要な保育サービスを提供できるように保育環境の整備に努めます。

第4回定例会

【最終日（12月12日）に可決された議案など】

○平成25年度一般会計補正予算
次の内容で総額1億3,400万円を補正するものです。

- ①中国残留邦人等生活支援給付金の追加
- ②児童精神医学寄附講座設置事業費の追加
- ③不妊治療支援事業費の追加
- 児童精神科医の養成制度等の拡充を求める意見書
- 積雪寒冷地域対策の推進を求める意見書
- 公共工事の入札不調を解消する環境整備を求める意見書
- 集団的自衛権行使を容認する解釈改憲を行わないことを求める意見書
- 介護保険制度における新たな地域支援事業の導入に係る意見書

このほか、「札幌市男女共同参画センター条例の一部を改正する条例案」など合計58件の議案などが可決されました。

■編集 札幌市議会事務局
☎211-3164 FAX 218-5143
■市議会ホームページ
www.city.sapporo.jp/gikai



「市議会ガイド」

市議会をより身近に感じていただくために、市議会の役割や活動を掲載したパンフレット『よくわかる札幌市議会ガイド』を配布しています。本会議や委員会の流れをはじめ、モエレ沼公園ができるまでに市議会が果たしてきた役割などを分かりやすく紹介しています。

※ホームページでもご覧いただけます。

配布場所 市役所ロビー、16階議会事務局、18階本会議場傍聴席入口など。

